行政視察報告書　　議会運営委員会　　　2017年7月12日(水)

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　11番　石井通春

|  |  |
| --- | --- |
| 視察先 | 滋賀県野洲市 |
| 研修テーマ（調査項目） | 議会改革、予算委員会、災害時の取組など |
| 1. 取組の内容評価   ・予算委員会の常任委員会制度（議長を除く全議員）  ・決算特別委員会の設置（議長、監査を除く全議員）  ・委員会採決前に行う議員間討議の実施  ・議会出前講座の実施（待ちの姿勢ではなく、各種団体に出向いていく）  ・上記とは別に市民懇談会開催（市政で重要な案件が生じた際、市民の意見を聞く会）  ・通年議会制度の実施   1. 今後の課題   ・決算委員会はなぜ特別委員会なのか（常任委員会でもいいと思う）  ・監査委員を外すべきではない（監査に関して知りえた質問をしなければ質疑出来る）  ・議会報告会、懇談会参加者数は全国同様減少傾向である   1. 本市に反映できると思われる点   ・予算委員会全員参加による「本会議の形骸化」は、委員会と本会議とで構成メンバーが異なるので形骸化とはとらえていなかった  ・委員会での議員間自由討議（質疑後、賛否表明を含めた討論的な内容に対しても議員間で討議をすること。当然「生々しくなる」が、これは取り入れていくべきであろう。現在、予算決算委員会最終日で短時間設けられているが、野洲市のようにすべての議案で取り入れてはどうか  ・その際、討論に対する質疑は出来ないことをしっかりと踏まえる必要がある。  ・予算委員会は所管常任委員会ごとの分科会制度。委員長報告に対する所管外所属議員から質疑が旺盛（本会議）であり、常任委員長の力量が問われる。  ・こうした取り組みをするにあたっては、市民の理解を得られるよう説明にも工夫が必要（専門用語ばかりではわかりづらい）   1. その他 | |